

## 山ぼうし

第10号 平成18年 1月31日 発行

山ぼうしは「立志の樹」といわれ、本校正門脇に植樹されており、

花も実も 蒼天に立つ 山ぼうし

の碑（初代 PTA 会長盛合聡の揮毫）がある。



## 魅力に満ちた学校づくり

校長 及川敏昭

**今年**の冬は、近年に無いほどの記録的な大雪と寒波が日本列島を襲い、北陸では道路が雪崩の恐れで寸断され孤立する地域もでています。また、多くの地点で既に観測史上最も多い積雪を記録し、雪の事故による犠牲者も多く出ています。ヨーロッパやロシアでも厳しい寒波が来襲し、氷点下 60 度にもなった地域もあるとのことでその様子がテレビでも放映されておりました。どのくらいの寒さなのか見当がつかませんが、これも地球温暖化による異常気象の影響ではないでしょうか。

**さて**、希望に満ちた新しい年を迎え、冬の寒さとは逆に県内経済は一部には明るさも見え始めておられます。金ヶ崎町にある関東自動車工業は今年 2 月から国内向けのコンパクト車「ベルタ」を年間 30 万台のフル生産を開始する予定で、部品の調達率も現在の 42% からさらに向上する計画もあり宮古市の基幹産業であるコネクタや金型産業への波及効果も大いに期待をされておられます。

**IT** 産業が集積する宮古地域にとって、地域産業の担い手としての工業高校の重要性は今後ますます増すものと確信をしているところであります。

**さて**、新しい年が明けてから本校にとって嬉しいことが 3 つありました。ひとつは、各教室に掲示されていると思いますが、一月一日の元旦の岩手東海新聞に本校の特集が大きく掲載されておりました。市民を対象とした「パソコン教室」、小・中学生を招待しての「校内アイデアロボット競技大会」小・中学校を訪問し壊れた備品を修理した、「出前修理」等々、今までの本校の取り組みが地域の方々に大きく評価をされた結果だと思っております。

**また**、岩手日報には卓球の第 33 回全国高校選抜大会県予選男子シングルスで優勝した

本校の中村真大君と準優勝の盛合和昌君の活躍した記事が大きく掲載されておりました。学校や生徒の生き生きとした姿を大いに地域の方々にアピールできたことはとてもうれしいことだなと思っております。

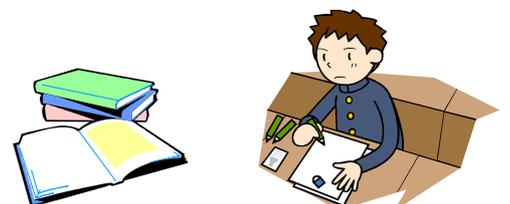
**二つ**目は、今年度の本校生徒の就職は厳しい雇用情勢にもかかわらず県下でもトップの内定率を実現することができました。特に地元企業からは多くの求人を頂き、希望した 38 名の全ての生徒が内定していることは地域産業の人材を育成することを目的にしている本校にとって大変喜ばしいことだと思っております。企業からの大きな期待に応え、地域の先端技術産業を担う技能者・技術者としての誇りを持ち、10年後、20年後にはこれら本校卒業生が大きく成長し地域産業の担い手として大いに活躍をされることを期待しています。

**三つ**目は、過日平成 18 年度の県内公立高校志願倍率が新聞に掲載されました。本校については、志願者数が機械科・電気電子科が共に一倍を越え、建築設備科 0.8 倍となり、各科とも最近にない高い志願倍率となりました。少子化による生徒数の減少の中で、二つの科が定員を満たすことが出来たということは、地域や保護者そして中学生から本校がよく理解され評価をされた結果だと感じています。また、このことは生徒諸君がいままで「魅力ある学校づくり」に一生懸命に取り組んだ成果であると思っております。今後とも創意工夫した取り組みを継続して行い、管内の高校の中で志願者が一番多い魅力に満ちた学校にしていきたいと考えております。

**2006**年が生徒諸君にとってワンダフルで躍動に満ちた年であることを祈ります。

## 2・3月行事予定

1月31日(火)～ 2日(木)	工業高校生徒協議会
2月 3日(火)	標準テスト(1年電気科、2年全科)
2月 3日(金)～ 8日(水)	3年定期考査
2月 4日(土)～ 5日(日)	バスケットボール沿岸大会
2月 8日(水)	「いきいき宮工2005」発表会
2月 9日(木)	保護者進路説明会(2学年)
2月10日(金)	漢字検定
2月13日(月)～16日(木)	1・2年定期試験
2月28日(火)	卒業式予行
3月 1日(水)	卒業式



# 東北大会へ 情報技術研究発表大会

平成18年1月19日(木)～20日(金)、ホテル紫苑を会場に平成17年度岩手県高等学校教育研究会工業部会 情報技術教育研究専門部 第25回研究発表大会が開催されました。本校からは機械科の山野目弘先生と電子機械科の岩澤利治が、「宮古湾周辺模型の製作～模型を通じた津波防災へのアプローチ～」と題して発表しました。その結果、6月に同じくホテル紫苑で開催される東北大会への推薦が決定しました。

発表は県内の工業高校を中心に、9テーマ出され、その中から上位2テーマが東北大会へ推薦されます。



その内容は、3年生が課題研究で製作した宮古湾周辺模型を、情報技術を活用して津波防災に役立てる取り組みで、精巧に作られた模型と、それを使ったホームページで情報発信する様子が紹介されました。今後はこれを津波防災に関する教材として、多方面での活用を目指し研究が続けられています。

スマトラ沖地震津波から津波に備える報道が増えましたが、防潮堤などの防災設備がすべての海岸で完成しておらず、経年で住民の危機意識も薄れています。この教材を地域へアピールし、防災力の向上へ繋げていきたいと考えています。また、東北大会でも更に内容を充実させて発表できるように今後も頑張りますので、よろしくお願いいたします。



## 生徒研究 「校内・県大会」発表会

「物づくり」、「研究」、「調査」の1年間のまとめとして、校内発表会が実施された。今年度は平成17年11月30日午後よりPTA会長の柳澤様他2名の来賓と豊間根中学校より田口真教諭、生徒5名の出席を頂いた。

課題研究は自分たちでテーマを考え取り組んでいく、問題解決型の授業で週に3時間割り当てられている。4科で1年間のまとめとして事前に科内発表会をへて選考された作品、その内から一席、工業クラブ連盟県大会に出場できる。

発表テーマは設備工業科「消火設備(スプリンクラー)実験装置の改良」、機械科「ゴミ箱の製作」、電子機械科「出前修理2005」、電気科「シーケンス制御による鉄道模型」の4テーマで競われた。



結果は設備工業科の作品が「県大会で安全に対する発表経歴がなく」審査員の選考を受け県大会へ出場することになった。

県大会は平成18年1月26日、北上市さくらホールで発表会が実施され、設備工業科生徒5名による発表があり、落ち



着いて練習の成果を十分にみせてくれました。岩手大学の審査委員長から「普段の授業において身近で大切な事を工業高校で学んでいることを知ることができた。これからも社会で役立てほしい」とのコメントを頂戴し生徒達も喜んでいました。貴重な体験をしたと思います。